

以下内容は、NAIST Tea Time #17 で設けられた質疑応答の時間における、大阪茨木モスクのディレクター、Mohsen Shaker Bayoumy さんの回答をもとに構成されています。

1. イスラム教の教え通り決まった時間にお祈りできないときはどうしていますか。

イスラム教徒にとってお祈りはとても大事な行為で、1日に5回と決まっています。決まった時間にお祈りできない状況のときは、その用事が済み次第お祈りを再開すればよいとされています。ただし、できなかった分の回数を飛ばして（休んで）次のお祈りに移ることはできません。つまり、1日5回のお祈りのうち、2回目、3回目ができなかったとしたら、4回目から続けるのではなく、2回目、3回目のお祈りも抜かさずに行う必要があります。

2. なぜイスラム教徒は豚肉を食べないのですか。

聖コーランによると、唯一神アッラーの教えにより、イスラム教徒は豚肉を食べてはいけないとされています。アッラーは全知全能な創造者であるため、アッラーの言うことは絶対です。また、アッラーの決定はイスラム教徒にとって最善であり、アッラーが豚肉を食べるなど言うなら豚肉を食べないことが私たちにとって良いことなのです。

3. ハラル食品が手に入らないとき、もしくはハラルかどうかわからない食品の場合、イスラム教徒はどうしていますか。

ハラル食品が入手困難な場合は、食べるのを禁止されている食品を口にしないように気を付けながら、魚、野菜、果物やその他の食べても良いとされている食品を選びます。また、何かを口にしなければ死んでしまうといった状況の場合で、他に何も食べられるものがない時は、豚肉を食べても良いとされています。

4. 日本では仏教の中にもたくさんの宗派がありますが、イスラム教はどうですか。宗派によってモスク（礼拝所）は変わりますか、また、別々にお祈りをするのですか。

もちろん、イスラム教もスンニ派、シーア派のようにたくさんの宗派に分かれており、それぞれのモスクがあります。しかし、日本では別々の宗派が同じモスクで一緒にお祈りをしており、何も問題はありません。シーア派はスンニ派のモスクに来ても良いとされており、共に祈ります。

5. 日本国内におけるイスラム教徒の人口はどれくらいですか。

日本で公表されている公式な数字というのはありません。約30万人とも、10万人とも言われており、結局のところ正確な数はわかりません。

6. なぜラマダン（断食）を行うのですか。

とても大事な質問ですね。イスラム教徒がこれを語り出すととても長くなるのですが、簡潔に言うと、ラマダンは私たちにとってとても重要な月です。イスラム教徒はラマダンを心待ちにしているのですが、それは、素晴らしい経験ができて気分も高揚するからです。ご存知かもしれませんが、ア

ッラーが創造されたものの中に、飲まず食わずでアッラーへの崇拝に一生を捧げる天使がいます。ラマダン時期のイスラム教徒は、断食をし、この天使と同じあり方を目指すことで、心が満たされ、アッラーをより近くに感じるのです。断食をすることは、同時に、世界の貧困な人々への理解を深めます。世界中に飢餓で苦しんでいる人々がいますが、断食をすればその人たちの苦しみを少しは感じることができ、そういった人々をできる限り助けようという気持ちになれます。ラマダン期間の終わりにイスラム教徒が進んで貧困者救済の寄付を行うのは、そういう理由からです。

7. (イスラム教徒の生徒より)

日本では、ただイスラム教徒というだけで「テロリスト」だと言う人がいますが、そういった人たちにはどう対応するのが良いですか、無視するのが良いですか。

こういった状況においては、言い返さない方が良いと思います。誰かの発言を発端に争うのは良くないからです。最善の方法は、イスラム教徒が善良で美しい人たちであるということ、あなた自身の行動でイスラム教徒を誤解している人たちに示すことです。もしイスラム教徒に対して間違ったイメージや見解を持っている人がいたら、イスラム教徒が善良な人たちであることを教えたり、イスラム教が彼らの考えるようなものではないと説明したりすることで、彼らの考えを変えることができるはずで

8. (イスラム教徒の生徒より)

あるアラブ首長国連邦出身の女性芸能人が、インスタグラムに自身の写真をアップしているのですが、髪の毛を完全にヒジャブで隠していません。友人に、なぜこの女性は髪の毛を見せているのには私にだめなのか聞かれて、答えに困りました。この質問には、どのように答えれば良いのでしょうか。

イスラム教には、ほとんどの物事に対してイスラム教徒全員が守るルールがあります。もちろん、アッラーを信じることは、このことはイスラム教においてとても重要なことです。また、従わなくてはならないルールがいくつかあります。例えば、毎日5回お祈りをする、ラマダンの月に断食すること、ザカート(貧困者を救済するための税金のようなもの)を納めること、メッカへの巡礼を行うことなどです。このような全員が守るべきルールを除けば、イスラム教徒は自由です。自由というのは、イスラム教徒は様々な場所で生活しており、その土地の環境に合わせて暮らせるという意味です。全体共通のルールの一つとして、女性の髪の毛を覆うヒジャブ(スカーフのようなもの)があり、ヒジャブを被るというルールは、一部の地域のものではなく、どこにいても守るべきものです。ですから、もし髪の毛を完全にヒジャブで覆い切れていない女性がいたとしたら、これは良い例ではありません。イスラム教の教えでは、女性の髪の毛は覆い隠すものであり、それができていない女性は、アッラーに命じられてあえてそうしているとされています。つまり、その女性はアッラーの愛と報いを受けるためにそうしているのです。

9. コーランの中でアッラーが自分自身のことを「私たち」と表現することがありますが、イスラム教でない人にとってこの言葉の意味はどう解釈すれば良いですか。

コーランの中でアッラーは自分自身のことを「私」ではなく「私たち」と表現します。アラビア語で

「私」は「ana」であり、「私たち」は「nahnu」なのですが、アラビア語では、身分の高い人は自分自身のことを表現するときに1人称複数「私たち」「nahnu」を使います。私たちの創造者であるアッラーは当然のことながら、自分自身を表現する言葉として「私たち」を使って良いとされています。つまり、この「私たち」は、複数の神々を表現しているわけではなく、最高の地位にいる唯一神アッラー自身のことを指します。最高位の人、自分一人を指すときも「私たち」「nahnu」を使用するというアラビア語の言語ルールにより、こうした表現になっているのです。

10. NAISTは各国から学生・教職員が集まる国際色豊かなキャンパスとなりましたが、NAISTのイスラム教コミュニティと良好な関係を築くために、何か気を付けることはありますか。

NAISTには文化や宗教から成る様々なコミュニティがあるそうですね。イスラム教では、すべての人々の信仰や文化を尊重することをとても大事にしています。イスラム教ではない人たちの中には、イスラム教徒とどう付き合えば良いのか悩む人もいますかと思いますが、それはイスラム教徒に限らずどの人に対しても同じだと考えてください。皆さんが他人の信仰や行動を尊重するように、イスラム教徒に対しても特別扱いをせず同じように敬意を払い接してほしいと思います。

11. イスラム教徒の家族の元に生まれたら、自動的にイスラム教徒になるのですか。なにか儀式や必要条件はありますか。

いいえ、イスラム教徒になるために特別な儀式は必要ありません。誰でもイスラム教徒になることができます。

12. イスラム教は様々な文化、慣習、環境が混在する世界各国で信仰されているため、同じ宗教といっても、食べ物や服装などが地域によって少しずつ変わってくるかと思いますが、それでも、イスラム教は世界中のイスラム教徒が共通の認識を持つ、確固たる一つの宗教だと言えますか。

前述の質問でも触れたように、イスラム教には、イスラム教徒全体が守るべき共通のルールはありますが、そのルールを除いては、居住環境に応じて自由に生活しています。インドネシア、マレーシア、バングラデシュ、インド、アラブ諸国、アフリカなど、それぞれ違った文化を持つ人々が同じイスラム教徒として信仰を続けられるのはこのためです。イスラム教全体に共通するいくつかの決まりごとは守りながらも、他の物事に関しては自由な選択が可能なのです。